

Excel Export Add-in Manual

by SparxSystems Japan

Excel 出力アドイン 利用ガイド

(2025/02/20 更新)



目次

1	はじめに	۲	3
2	動作環境	<u>호</u> 퀸	3
3	利用条件	+	3
4	アドイン	ノのインストール	3
5	アドイン	~の操作方法	4
5	.1 アト	ドインの実行	4
5	.2 Exc	cel・CSV の出力	5
5	.3 テン	ィプレートの作成・編集	7
	5.3.1	テンプレート編集画面	7
	5.3.2	検索条件画面	9
	5.3.3	タグ付き値の追加画面	10
	5.3.4	テンプレートのレイアウト変更	11
6	特記事項	頁	12
7	改訂履歷	香	13

1 はじめに

本アドインは、要素や接続の情報を一覧形式で Excel・CSV に出力します。出力内容・順序のほか、書式や罫線 などをお客様自身でカスタマイズして Excel 出力することもできます。 本資料は、Excel 出力アドインバージョン 1.8.0 を基に作成しています。

2 動作環境

- ・ Enterprise Architect 日本語版 バージョン 15.2 ビルド 1560 以降
- Enterprise Architect すべてのエディション(種類)
- ・ .NET フレームワーク 4.7.2 以降のランタイム
- 動作確認は Microsoft 365 Excel (デスクトップアプリ版) で行いました。
 おそらく他のバージョン(Excel 2016 以降)でも動作します。
- Excel が無い場合でも、テンプレートの作成、Excel・CSV 出力は可能です。
 (テンプレートのレイアウト変更はできません)

※Enterprise Architect の動作環境(OS など)は下記ページをご覧ください。 https://www.sparxsystems.jp/products/EA/ea_sysreg.htm

3 利用条件

- ・ アドインのインストールには管理者権限が必要です。
- ・ 差分比較・マージツール「LemonTree」がインストールされていて、EA用アドイン「LemonTree.EAAddin」 が有効な場合、本アドインとの同時利用には既知の問題があります。
 <u>https://www.sparxsystems.jp/forum/modules/xhnewbb/viewtopic.php?topic_id=6943</u>
 同時利用をご希望の場合は、本アドインのバージョン 1.5.0 以降ご利用ください。

4 アドインのインストール

下記ページをご覧ください。

https://www.sparxsystems.jp/products/EA/tech/Addins.htm#install

5 アドインの操作方法

5.1 アドインの実行

以下いずれかの方法で実行します。

- プロジェクトブラウザ上で実行
 プロジェクトブラウザ上で、パッケージ・要素・ダイアグラムを選択し、右クリックで表示される
 コンテキストメニュー → 「アドイン・拡張」→「Excel 出力」を選択します。
- ・ ダイアグラム上で実行

ダイアグラム上の背景で右クリック、もしくは、ダイアグラム上の要素を選択(複数可)して 右クリック、で表示されるコンテキストメニュー →「アドイン・拡張」→「Excel 出力」を選択します。

アドイン実行時にアドイン用パッケージが無い場合は、アドイン用パッケージ作成場所を選択する画面が表示され、選択されたパッケージ配下にサンプルテンプレートを含む「Excel 出力アドイン」パッケージが作成されます。尚、アドイン実行時に既に「Excel 出力アドイン」パッケージがある場合、サンプルテンプレートの配置は行ないません。

アドインを実行すると以下の画面が表示されます。

この画面ではテンプレートを選択し、Excel・CSV を出力することができます。

出力対象 Package1
 出力情報 ● 要素 ○ 接続 ○ 温性 ○ 操作も出力 ○ 子要素も出力 ○ タグ付き値の値がGUIDの場合、要素名を出力 ○ 接続なしの要素も出力 ○ 接続なしの要素も出力 ○ 集約はソース・ターゲットを入れ替えて出力
シート単位 ● なし ○ パッケージ ○ ダイアグラム *出力対象にパッケージを指定時のみ有効
テンプレート名 - 編集/新規
出力する種類 *空欄の場合、すべてが対象
出力形式 ● Excel ○ CSV 分割記号
出力ファイル …
出力ファイルを表示 出力 閉じる パージョン 1.8.0.1704 Copyright © 2017-2025 Spary Systems Japan

項目名	説明
出力対象	出力対象を表示します。「」ボタンをクリックして、パッケージ・ダイアグ
	ラムのツリーから選択することもできます。
出力情報	出力する情報(要素・接続)を選択します。以下、オプション設定です。
	・属性・操作も出力 ※「要素」選択時のみ
	・子要素も出力
	・タグ付き値の値が GUID の場合、要素名を出力 ※「要素」選択時のみ
	・接続なしの要素も出力 ※「接続」選択時のみ
	・集約はソース・ターゲットを入れ替えて出力 ※「接続」選択時のみ
シート単位	Excel 出力時のシート単位を選択します。※Excel 出力時のみ
	「パッケージ」「ダイアグラム」は出力対象にパッケージを指定した場合のみ
	設定可能です。
	「パッケージ」を選択して Excel 出力した場合、出力項目に「名前」 があれば、
	シート間のハイパーリンクが設定されます。具体的には、Excel 上の「名前」
	欄に記載のパッケージ名にハイパーリンクが設定され、該当パッケージのシー
	トにジャンプできます。また、A1 セルをクリックすると、親パッケージのシ
	ートにジャンプできます。
テンプレート名	テンプレートを選択します。テンプレートを作成・編集したい場合は、「編集/
	新規」ボタンをクリックしてください。(アドイン用パッケージ作成時にサン
	プルテンプレートも登録されます)
出力する種類	出力する種類を限定したい場合に設定します。複数の種類を指定する場合はカ
	ンマで区切ります。設定可能な文字列は、以下のヘルプをご確認ください。
	 · 要素
	API・アドイン・スクリプト > API > リファレンス > 要素 > Element
	に記載されている「要素の種類名」
	・接続
	API・アドイン・スクリプト > API > リファレンス > 接続 > Connector
	に記載されている「単語」と「対応する接続」の項目表
出力形式	Excel、CSV を選択します。
分割記号	CSV の分割記号を設定します。 ※CSV 出力時のみ
出力ファイル	保存先ファイルパスを表示します。「」ボタンをクリックして、ダイアログ
	で保存先を指定できます。(テンプレートを選択すると、デスクトップあるい
	は前回保存場所のパスが自動設定されます)
出力ファイルを	直前に出力したファイルを開きます。
表示ボタン	
出力ボタン	ファイルを出力します。
閉じるボタン	この画面を閉じます。

5.3 テンプレートの作成・編集

5.3.1 テンプレート編集画面

ファイル出力画面で「編集/新規」ボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。 この画面ではテンプレートの作成・編集をすることができます。

テンプレート編集					×
出力情報	○ 要素	○接続			
テンプレート名	□ 既存ファ	・イルをレイアウトに利	川用する	•	
ノート				•	
出力対象情報	1 行	1 列 🕑 出力す	a		
データ開始セル	行	列 🔽 ヘッダ	行も出力する		
出力する種類					
	*空欄の場合	、すべてが対象			
検察条件	条件指定				
選択可能項目			出力項目		
要素の種類 名前		ietu s			
GUID ノート					\frown
フェーズ		- 除			<u> </u>
優先度					↓
ステレオタイプ 完全修飾ステレオタ・	イプ	タグ付き値			
メタタイプ 言語					
レイアウト要素にフォーカス					
新	1規 保	存別名保存	削除 閉	ර්න	

項目名	説明
出力情報	出力する情報(要素・接続)を選択します。
テンプレート名	新規作成時は、テンプレート名を入力してください。
	編集時は、編集したいテンプレートを選択してください。
	お客様独自の Excel ファイルをレイアウトとして利用したい場合は、「既存フ
	ァイルをレイアウトに利用する」のチェックを有効にしてください。テンプレ
	ート保存時に Excel ファイル選択画面が表示され、お客様独自の Excel ファイ
	ルを設定することができます。※新規作成時のみ利用可
ノート	テンプレートに関するメモを入力します。
出力対象情報	出力対象情報の出力有無・出力セルを設定します。
データ開始セル	データ行の出力開始セルを設定します。
	また、オプションとして、レイアウト要素にヘッダ行(項目名)の出力有無を
	設定できます。出力する場合、データ開始行-1行目に出力されます。
	※新規作成時のみ利用可
	※新規作成後、出力項目の追加・削除・順序変更しても
	Excel 上のヘッダ行は同期しませんのでご注意ください。
出力する種類	出力する種類を限定したい場合に設定します。
	設定可能な文字列は、5.2章の同項目をご参照ください。
検索条件	「条件指定」ボタンをクリックして、要素の名前・ステレオタイプ・タグ付き
	値について条件を設定します。詳細は0章をご参照ください。
選択可能項目	出力可能な項目の一覧です。「出力項目」に設定されている項目は表示されま
	せん。タグ付き値も表示されませんが、「タグ付き値追加」ボタンよりタグ付
	き値を「出力項目」に設定することができます。
	プロジェクトで複数言語が設定されている場合は、利用言語の項目(例:英語
	であれば「名前_en」など)も一覧の最後に表示されます。当該項目はパッケ
	ージ・要素・属性・操作・接続の情報を出力します。
出力項目	出力する項目の一覧です。
追加->ボタン	「選択可能項目」で選択されている項目を「出力項目」に追加します。
<-削除ボタン	「出力項目」で選択されている項目を「出力項目」から削除します。
タグ付き値	タグ付き値を「出力項目」に設定します。詳細は 5.3.3 章をご参照ください。
追加ボタン	
↑↓ボタン	「出力項目」で選択されている項目の順序を変更します。
レイアウト要素に	プロジェクトブラウザ上で該当テンプレートのレイアウト要素にフォーカス
フォーカスボタン	を当て、この画面を閉じます。Excel 上でレイアウト変更をしたい場合などに
	利用すると便利です。
新規ボタン	テンプレートを新規作成するために画面を初期状態にします。
保存ボタン	表示内容でテンプレートを保存します。
別名保存ボタン	表示内容でテンプレートを別名保存します。
削除ボタン	表示されているテンプレートを削除します。

項目名	説明
閉じるボタン	この画面を閉じます。

5.3.2 検索条件画面

テンプレート編集画面で「条件指定」ボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。 この画面では、出力する要素の名前・ステレオタイプ・タグ付き値の条件を指定することができます。

検索条件				×
項目	タグ名	条件	値	
名前		含む	aaa	
ステレオタイプ		同じ	bbb	
タグ付き値	tag1	含む	ccc	
			ОК 閉じる	

項目名	説明			
AND/OR	条件が複数の場合に、AND/OR を設定します。			
一覧 (項目)	条件指定したい項目を設定します。			
一覧 (タグ名)	タグ付き値の名前をリスト選択あるいは入力します。			
	※「タグ付き値」選択時のみ			
一覧(条件)	値に対する条件として下記が自動表示されます。編集はできません。			
	「名前」選択時 : 含む (部分一致)			
	「ステレオタイプ」選択時:同じ (完全一致)			
	「タグ付き値」選択時 : 含む (部分一致)			
一覧 (値)	条件指定したい値を入力します。「ステレオタイプ」「タグ付き値」選択時は、			
	リスト選択することもできます。「タグ付き値」選択時は、タグ付き値の値に			
	対する検索条件となります。			

テンプレート編集画面で「タグ付き値追加」ボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。 この画面では、出力したいタグ付き値を設定することができます。ここで設定すると「テンプレート編集」 画面の「出力項目」に「TaggedValue_xxxx」のような項目が追加されます。

対象タグ	● 新規/使用中 ○ 選択要素
	要素の指定
タグ名	~
	● 接続 ○ ソース側の端
	○ ターゲット側の端
出力対象	●値 ○ノート

項目名	説明
対象タグ	「タグ名」に表示する内容を指定します。
	・「新規/使用中」:当該プロジェクトの要素あるいは接続が利用しているすべ
	てのタグ名を「タグ名」に表示します。
	・「選択要素」:「要素の指定」ボタンをクリックし、「要素の選択」画面で
	指定した要素が保持するタグ名を「タグ名」に表示します。
	※「テンプレート編集」画面の「出力情報」で「要素」選択時のみ
タグ名	出力するタグ名を選択します。
	「接続」「ソース側の端」「ターゲット側の端」は、いずれが保持するタグ付き
	値を出力するかを指定します。
	※「テンプレート編集」画面の「出力情報」で「接続」選択時のみ
出力対象	タグ付き値の値・ノートのいずれを出力するか選択します。

5.3.4 テンプレートのレイアウト変更

作成したテンプレートのレイアウトは、お客様自身で以下のような変更をすることができます。

- 書式の変更や罫線の追加
- ・ ヘッダ項目名の変更(ヘッダ項目名を直接編集)
- ・ 行の高さ、列の幅の変更 ※アドイン側で自動調整機能はありません
- ・ 固定出力する文字の追加 ※追加できないセルが一部あります

レイアウトの変更方法は以下のとおりです。

(アドインインストール時にサンプルテンプレートも登録されますので合わせてご確認ください)

- 1. 「テンプレート編集」画面でテンプレートを選択します。
- 「レイアウト要素にフォーカス」ボタンをクリックします。
 ※プロジェクトブラウザ上で該当テンプレートのレイアウト要素の位置が分かる場合、
 上記 1.2 の手順は不要です。
- 該当のレイアウト要素を右クリックして表示されるコンテキストメニューより 「保護しているファイルを開く」を選択します。
- 4. 対象テンプレートの Excel が開きますので編集してください。

下図の赤枠のセルを移動しても、データ出力箇所は変更されませんのでご注意ください。

	А	В	С	D	E	F	
1	固定文字1						
2		出力対象情報の	セル(この文字列は出力	〕対象情報で上書きされます)			
3		要素の種類	名前	GUID	ノート	71-7	
4		データ先頭行(この文字列は出力されません)					
5		データ中間行(この文字列は出力されません)					
6		データ最終行(この文字列は出力されません)					
7							
8	固定文字2						
0							

- 5. Excel の編集が終わりましたら Excel 上で保存します。
- 6. その後、Enterprise Architect 画面をクリックすると以下の画面が表示されますので 「保存」を選択します。

ファイルの変更	×		
SampleElement.xlsx			
ファイルの内容が変更されています。保存ボタンを押すと、変更内容をプロジェクトに保存しま す。			
保存	破棄		

※上記 5,6 のように、保存は Excel と Enterprise Architect のそれぞれで操作が必要です。

6 特記事項

- ・ 出力対象の要素が同じタグ名を複数保持している場合、API で取得した1件のタグ付き値のみが Excel・CSV に出力されます。
- ダイアグラム単位・ダイアグラム指定・ダイアグラム上の要素指定で接続を出力する場合、ダイアグラム上で非表示としている接続は Excel・CSV に出力されません。また、非表示接続の両端の要素については、当該接続がないものとして扱われます。
- テーブルレイアウトの利用について
 - ・レイアウト要素の Excel でテーブルレイアウトを利用している場合、テーブルレイアウトのヘッダ位置と テンプレートで設定しているデータ開始セルの前行の位置が重なっていればテーブルレイアウトと見な し、テーブルレイアウトの最終行としてデータ行の最終行を設定します。
 - ・新規テンプレートの作成において、テーブルレイアウトが設定されている Excel ファイル使って、「既存 ファイルをレイアウトに利用する」とした場合、テンプレート編集画面で指定する「出力対象情報」「デー タ開始セル」がテーブルレイアウトのヘッダ行と重なると正しくレイアウト要素が作成できないことがあ ります。

※「データ開始セル」については、該当セルの行から3行分を示します。

本製品は、アドバンスソフトウェア株式会社の著作物である「ExcelCreator 10.0 for .NET」を 再配布条件に基づき使用しています。

日付	改訂内容
2017/06/26	・新規作成
2017/06/27	 ・1章、記述修正
	・4.3 章、既存テンプレートの項目変更に関する記述追加
	・4.4 章、テンプレートのレイアウト変更に関する記述追加
2017/07/04	 ・1章、記述修正
2018/05/16	・バージョン 0.60 リリースに伴い、更新
2018/07/23	・バージョン 1.0.0.6 リリースに伴い、更新
2018/09/06	 ・1章、記述修正
2019/08/07	・2章、本アドインのインストールに関する記述を削除
	 ・3章、記述修正
2020/02/03	・旧バージョンに関する記述を削除
	・2 章、EA バージョン・エディション、.NET に関する記述修正
2021/06/17	・バージョン 1.0.3 リリースに伴い、更新
	・表紙、改訂履歴などの文言調整
2021/08/12	・バージョン 1.1.0 リリースに伴い、更新
2021/10/19	・バージョン 1.2.0 リリースに伴い、更新
2022/03/02	・バージョン 1.2.1 リリースに伴い、更新
2022/12/07	・タグ付き値の追加画面に関する記述追加
	・動作環境や画面項目の説明などの文言調整
2022/12/12	・アドイン同時利用に関する説明を更新
2022/12/21	・バージョン 1.6.0 リリースに伴い、更新
2025/02/20	・バージョン 1.8.0 リリースに伴い、更新

以上